

日本リベラルアーツ協会公開ブレスト

「今の時代に必要な能力とは？」

9月1日21時～@クラブハウス

リンクはこちらです <https://www.clubhouse.com/event/PYLjpEEO>

● リベラルアーツとは？

リベラルアーツとは元来、人間を良い意味で束縛から解放するための知識や、生きるための力を身につけるための手法を指します。古代ギリシアで生まれたこの概念は、やがて古代ローマに受け継がれ、言語系3学(文法・論理・修辞)と数学系4学(算術・幾何・天文・音楽)で構成される自由7科(セブンリベラルアーツ)に定義されました。(桜美林大学)

人が持つ必要がある技芸(実践的な知識・学問)の基本と見なされた自由七科のこと

現代では、「学士課程において、人文科学・社会科学・自然科学の基礎分野 (disciplines) を横断的に教育する科目群・教育プログラム」に与えられた名称である。

(Wiki)

リベラルアーツとは、人間性の全体的な発達と人格の成熟を目指す教育

文系・理系という分断の概念ではなく、文理の枠をこえて幅広い知識を得た後に専門性を深めることで、豊富な知識に裏打ちされた創造的発想を可能とする教育

(ICU)

● 古典リベラルアーツと現代リベラルアーツの違い

【共通点と相違点】

共通点：

- 教養教育は、人間を陶冶するものである。
- リベラルアーツは人間を「自由」にするものである。
- 学生に学ばせるべき、科目群がある。
- 教養は万古不易な知識である
- 授業は教室でおこなわれ、教授の講義を筆記し、理解し、質問をして疑問を解くことで理解が完成するという学習感を共有している

相違点：

古典的リベラルアーツ 現代的リベラルアーツ

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| ・ 自由七科(文法・修辞・論理・算術・幾何・天文・音楽) | ・ 人文・社会・自然の下位の3分野からなる一般教育科目 |
| ・ 人間を「自由」にすることを標榜しながら、科目編制は万古不易 | ・ 人間を「自由」にするために、科目編制はフレキシブルでよい |
| ・ ラテン語という標準語をもつ(それ以外の学術外国語はない) | ・ 外国語科目がある |
| ・ 保健体育科目はない | ・ 保健体育科目がある |
| ・ 科目編制が固定されていた、学ぶべき内容がある | ・ 現在では、それらの科目の横断する学際科目を設置してよい |
| ・ 受動的学習(教授の発話をノートする) | ・ 受動的に加えて能動的学習が推奨される |

ソース

<http://cscd.osaka-u.ac.jp/user/rosaldo/131111liberal00.html>

- 日本リベラルアーツ協会とは？

こちらのリンクをご覧ください

<https://linktr.ee/liberalarts>

- 自由7科とは？

主に言語にかかわる3科目の「三学」(trivium)と数学に関わる4科目の「四科」(quadrivium)の2つに分けられます。三学は文法・修辞学・弁証法(論理学)、四科が算術・幾何・天文・音楽と規定哲学(Philosophia)ですが、以上の自由七科を統合しその上位に位置すると考えられました。ギリシャ語(Greek)で英知を意味する「sophia」、愛することを意味する「philo」から成ります。一切の思想的前提を立てない理性の学といわれる哲学は、弁証法によって思考を深めることを教えるものとされました。弁証法とはギリシア語でいう対話「dialektike」です。

文法は語り、修辞は言葉を飾り、論理は真理を教え、幾何は測り、算術は数え、音楽は歌い、天文は星を学ぶ

参考

<https://naritas.jp/wp1/?p=3495>

<https://polaris-npc.com/category/liberalarts/>

当日の議事録

・面白い能力は必要ですか？ 必要ではない能力はない

面白さを分解していった先は、「教養」？

→教養があって、共通概念があって、痛快なもの(風刺など)が現れてくる

大学教育では 専門だけじゃない学問的な面白さもある 人類の共通概念への接続
共通って何？ 全人類の人が関わるもの アカデミックじゃなくても

学習＝参加という捉え方

教養があるかないかでコミュニティに参加できるかどうか

食:タンパク質が、、 知識ベース

→知識があることは、教養があるに必ずしも繋がらない

自由7科を考える上で、知識ベースではない7科は考えられないのか？

「教養」はこうであるより、今の教養を身につけるためにはどうすればいいかにシフトしたい

→教養は生きる力になるのか？

自由7科は、実生活から派生してできたもの？

生きる上では、クオリア、心技体のように総合的な観点が大切

他の人の視点も交えて問題解決をしていくのがリベラルアーツっぽい

知識はあとからでもいい

みなさんは、リベラルアーツをどういうように捉えていますか？

教養が人格を本当に適切に形成する？

例) DaiGo 差別発言

マイクロアグレッション

DaiGoはインフルエンサーであって研究者ではない 貢献型専門知は持てていない

知識創造が出来ないと人格形成のレベルではない

教養は、行動に対して線引きをしてはいけないのでは？

3学

文法 共通言語

<https://docs.google.com/document/d/15tRdjGRvEALkrnjK08L1MTtCWMHOWRfOu7TwAesCBu0/edit>(同じ文化にいる人との言語？)

言語学における文法とは違った意味

言葉と向き合う、そもそも言葉じゃなくても(手話など)

ノンバーバルコミュニケーション

修辞 自分がどう声を上げるか？伝えるか？相手とどう意見をすりあわせるか？

多様性に配慮しすぎていて話せないのではないか

9月11日19時～ 声の上げ方伝え方のイベントをやります

論理学 変わりはない。

①論理＝人が言語を使う上で不変なもの 変わってはいけないもの？

②ビジネスの現場などでもアブダクション(仮説推論)の時代に

数学？